

# わたしのくらし 地域の歴史⑩ 鍋ヶ谷戸の天王ばやし

―天王ばやしは祇園囃子の流れを汲む哀愁を帯びたもので、江戸時代から福生村、熊川村で行われていたようです。戦後、天王ばやしは衰退してしまいましたが、鍋ヶ谷戸では森田泉氏を中心に復活の動きがあり、昭和51年に太鼓を新調し、夏祭りでの町内巡行が実現しました。今回は平成27年10月11日と28年2月14日に行った白梅歴史懇話会での森田泉さん（昭和3年生まれ）、齋藤巽さん（昭和3年生まれ）、森田静恵さん（森田泉氏の奥様）、松尾輝昭さん（元鍋ヶ谷戸囃子連代表）ほかご参加の皆さんからのお話や地域の方への取材を通して、簡単にまとめてみました。―

お祭りは子ども達が仕切っていた  
昭和13年ごろ、当時の鍋ヶ谷戸の子ども達にとってまつり囃子といえは天王ばやしで、地域の子とも達は普通に天王ばやしの太鼓を叩いたそうです。♪カッカドンドンカッカドンドン……♪というり



写真① 昭和18年8月1日 提供：齋藤巽氏

ズムは時を経た今も、皆さんの心と体に今も刻みこまれています。

当時のお祭りは熊川神社内にある天王様のお祭りでした。天王様とは牛頭（ごっつ）天王のことです。毎年7月31日が宵宮（よいのみや）、8月1日が本祭でした。なお、内出・南は真福寺の西側にある神社が天王様です。

高等科2年生が親方になって

鍋ヶ谷戸の子ども達は4月早々から福生院に集まり、お祭りの準備をしたそうです。集まる場所を宿（やど）といい、他にも「中西」（なかにし）野島茂雄宅（やい島米店さんの蚕室や物置も使っていたそうです）。

学校が終わると、毎日のように子ども達は宿に集まります。高等科2年生（現在の中学2年生）が親方（おやかた）になって、神輿や山車、花万燈やあはれ万燈（写真②）などを作ります。竹はハケ洗いから取ってきます。新聞紙をぬらして型をつく

り、最後にきれいな紙で仕上げ、絵の具を塗ります。五月人形などを上に載せ、飾り付けをします。小麦粉（糊を作る）や卵（響きが良くなり、やぶけないように太鼓に塗る）をもらってきたり、十二天や滝山の方に神（さかき）を取りにいったりしました。特に低学年はいろいろな下働きがありました。お費銭などのお金の管理は親方が行いました。

祭りの初日は神を担いで町内をまわります。神輿が通る道を神でお清めをするということからではないかと思われま

小学校1、2年生は太鼓の綱引き、3年生が太鼓を叩く、4年、5年生は長い提灯を持って、周りを守ります。学年で役割が決まっていたようです。

一列に整列して、福生院を出発し、まず齋藤菊蔵さんの家に寄ります。それから鍋ヶ谷戸をまわります。寄る家は決まっています。

↓ 万燈 ↓



写真② 年代不詳 提供：齋藤雅子氏

夜は拝鳥駅の方まで行きます。お神輿をかついだり、太鼓を叩いたりしていきました。そこで、内出・南が下からあがってくる、神輿をぶつけこします。提灯持ちがまわりを守ります。鍋ヶ谷戸の方がはるかに人数が多かったということです。当時は奥多摩街道から東側は家がほとんどありませんでした。主に旧道筋（今の熊川通り）を回りま

お神輿を鍋一に、太鼓を鍋二に そのように戦前の祭り囃子は天王ばやしでした。戦後まもなく、地域の青年達が重松囃子を再興し、隆盛をみせると重松流との共存の時代を経て次第に

天王ばやしは衰退していきまます。

昭和21年に鍋ヶ谷戸が第一と第二に分離、昭和28年に鍋ヶ谷戸第二町会が発足しますが、それ以後もしばらくは鍋ヶ谷戸としてお祭りをやっていたようです。

鍋二での天王ばやし復活  
鍋二町会では森田泉氏を中心に、有志が天王ばやしの復活に心血を注ぎます。昭和51年に太鼓を購入し、その年の夏祭りに天王ばやしを鍋二町内を巡行しました。

町内巡行にあたり、太鼓を引き回す山車(台車)を作ることが発案され、森田一さん(森田建築)に作ってもらいました。それを森田泉さんが塗装し、また森田板金さんに両脇の飾りを作ってもらったそうです。鍋ヶ谷戸の天王ばやしのいま

現在、鍋二町会では杉山行男さんが天王ばやしを子ども達に伝える活動をしています。鍋一町会ではPTA支部や子供会がカッカードンドンを受けついで継続的に夏祭りで地域を回っています。

写真③のお神輿について  
戦後、鍋ヶ谷戸の青年有志がお神輿を作ること発案し、膳腕倉のところで作ったそうです。(天野建築さんとの説もあり。)とても大きく重たいお神輿でした。その後、このお神輿は南田園一丁目町会に譲

られたとのこと。

まだまだわからないことばかり  
年齢差による時代の相違や居合わせた場面の違い、伝え聞いた話などが入り混じり、なかなか整理できない状況です。昭和が遠くなっていく中で、伝えていく必要を強く感じました。

記述についての間違いなどなんなりと白梅分館にお知らせください。また、皆さんの情報をぜひともお寄せください。

参考文献 『熊川囃子 重松流祭囃子 無形民俗文化財 福生のまつりばやし』(平成16年1月) 鍋二囃子連  
『鍋二町会の歴史』(『会員名簿』鍋ヶ谷戸第二町会より)

『福生市史 上巻』  
『福生市史資料編 民俗下』



写真③ 昭和28年の夏まつり 提供: 森田勇氏



## ただいま会員募集中!



公民館白梅分館を利用しているサークルの会員募集です。

### 《福生市民コーラス》(女声合唱)

福生市公民館合唱講座をきっかけに発足した福生市民コーラスも、今年で40周年を迎えました。

親しみやすい曲やクラシックの名曲などを練習しています。ぜひ、一度見学にいらしてください。

※体験入会可、1ヶ月会費無料

活動日 月3回土曜日 午前10時~正午

会費 月額3,000円

連絡先 坂戸 042-553-3573



### 《いろは会》(かな習字)

女性7名でかな文字(短歌、俳句)と実用の書を学んでいます。初心者の方は基礎の「いろは」から始めます。

「無私の境地に浸れる」こんなひとときを味わってみませんか?

活動日 第2・第4木曜日

午後1時30分~3時30分

会費 月額2,000円

入会金 1,000円

連絡先 吉岡 042-553-6920



### 《金木犀》(太極拳)

楊名時太極拳はすぐに身につきます。呼吸法と合わせ、リラックス効果も抜群です。

見学・体験だけでも大歓迎です。

活動日 毎週金曜日 午後1時30分~3時

会費 月額2,000円

連絡先 山田 042-530-6019

